

で返却されない場合は責了とみなす。

八 刷り上がり一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし、実費で作製する。別刷希望

編集後記

さる五月の函館における総会から、二年間の新役員の任期がはじまった。それともなつて本誌の編集委員や委員長を長年にわたつてつとめておられた三輪卓爾氏が、おおくの功績をのこして退任された。委員長に就任されるや、在来の文字のみの表紙からヴイジュアルな表紙へとイメージチェンジをはかり、内容においても「地域の医史学」や「医史学と私」などの新企画のもとに誌面の刷新をはかつた氏の功績は忘れることが出来ない。

三輪氏の退任にともなつてその後任として、浅学非才のわたくしが委員長の重責を担うことになった。前任の委員長に比肩するような業績をあげられるとはとても思っていないが、同様のご叱声とご支援をお願いする次第である。編集方針については従来の良い慣習をうけてそれをさらにのびしてゆくほかに、懸案のキイワードの選定や和文抄録欄の新設など、早急に結論をえて誌面に反映していきたいとかがえて

いる。
査読制度が本誌にとりいれられて数年を閲しているの、これにたいする違和感はずでに払拭されたと思うが、ときに

者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

〒二三八四三 東京都文京区本郷二丁目一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

査読制度の煩わしさ故に投稿をひかえているという声をきくことがある。現今権威ある学術雑誌では、査読制度は至極当然とうけとられており、会誌の水準を一定以上に維持するための制度として、積極的にその意義はみとめられている。この点にご配慮いただき、おおくの会員からの投稿をお待ちしている。

会誌の発行が投稿原稿に依存している一方、これを審査していただく査読者の選定は委員会の大きな任務の一つと考えている。その領域について豊富な知識を有しておられる会員は必ずおられるに違いないが、適任者を選定するという作業はなかなかの困難をともなうことがおおい。査読という面倒な作業に時間を割いていたくのはまことにしのびないものがあるが、充実した内容の雑誌を発行するという目的のため、査読をご依頼申し上げたさいにはなにとぞよろしくご協力をお願いしたい。

新しい陣容で発足した編集委員会に、きびしいご批判と、あたたかいご支援をお願いする。
(深瀬泰且)